

秋の味覚 「さんま」

- 家計調査結果より -



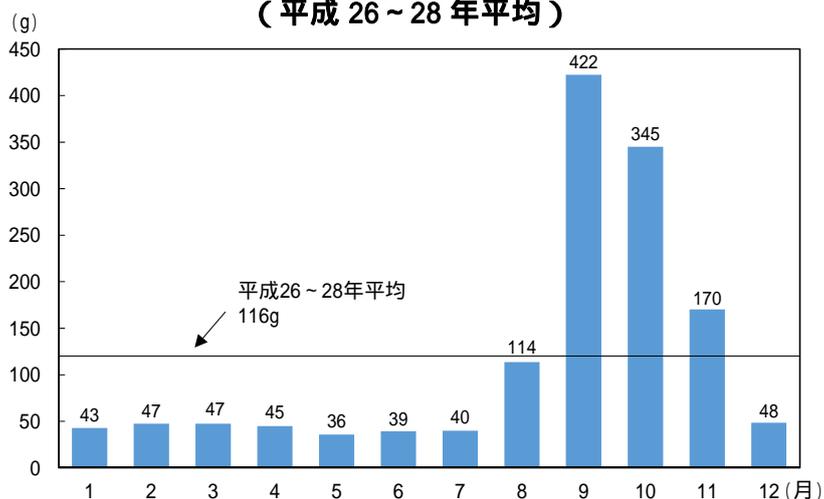
秋に連想するものとして、「読書の秋」、「スポーツの秋」そして「味覚の秋」など様々な「〇〇の秋」があります。そこで、今月は家計調査（二人以上の世帯）の結果から、「味覚の秋」の一つである「さんま」について見てみましょう。

9～10月に多いさんまの購入量

さんまは夏から秋にかけて、オホーツク海など北の海から日本列島を囲うように通過し、冬には南の海に辿り着きます。最も脂が乗っていて味が良いと言われているのが南下する秋のさんまです。

平成26～28年平均における1世帯当たりの「さんま」の購入量を月別に見ると、9月が最も多く、次いで10月となっており、この2か月間で年間の半分以上を購入しています（図1）。

図1 さんまの月別購入量
（平成26～28年平均）



東北の購入金額が最も多く、全国平均の約1.8倍

9月^注における1世帯当たりの「さんま」の地方別購入金額を見ると、東北地方が最も多く、全国平均の約1.8倍となっています（図2）。

注 平成26～28年の3か年平均

図2 さんまの地方別購入金額
（平成26～28年の9月の3か年平均）

